



今月は、4月より眼科部長に赴任した中尾武史からのご挨拶と眼科治療についてのご紹介をさせていただきます。

対象となる患者さまがおられましたら是非ご紹介をお願いいたします。



なかお たけし

眼科部長 **中尾 武史**

2021年4月より大阪大学医学部附属病院から市立池田病院の眼科へ部長として赴任して参りました中尾武史と申します。

地域の先生方と協力しながら受診患者さまの目の健康を保つよう診療を行います。どうぞよろしくをお願いいたします。

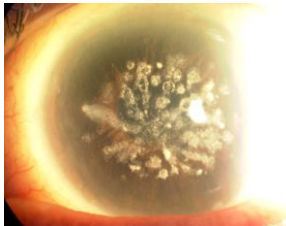
幅広い眼科疾患に対応いたします

眼科では年間700人以上の新規紹介をいただいております。下記のような幅広い眼科疾患に対応しております。

- ・ 白内障 (1)
- ・ 角膜・結膜などの眼表面疾患 (2)
- ・ 緑内障 (3)
- ・ 黄斑変性 (4)、網膜血管閉塞症 (5)、黄斑浮腫などの網膜疾患
- ・ ぶどう膜炎や強膜炎などの眼炎症疾患
- ・ 視神経疾患、眼球運動の異常や視野障害
- ・ 小児の屈折異常、斜視、弱視
- ・ 高血圧 (6)、糖尿病 (7) など全身疾患に関連する目の疾患および眼外傷



(1) 白内障による水晶体の混濁



(2) 角膜ジストロフィー

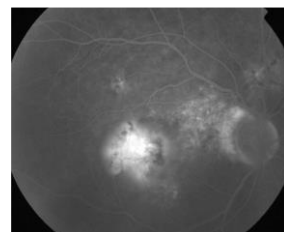
(2) 角膜潰瘍



(3) 急性緑内障発作



(4) ポリープ状脈絡膜血管症



(4) 加齢黄斑変性の蛍光造影



(5) 網膜静脈分枝閉塞症



(6) 高血圧による網膜出血

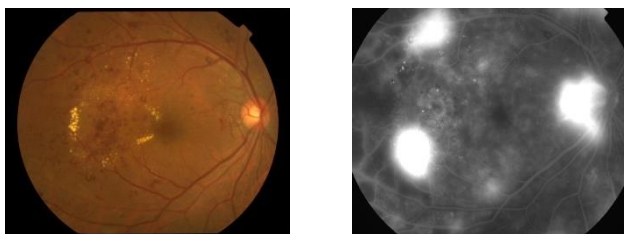
眼感染症、原田病、甲状腺眼症、視神経炎など点滴治療が必要となるような疾患については、入院治療を行います。眼球打撲など眼周囲の画像診断が必要となる場合は、可能な限り当日に検査を行います。

また、眼瞼や眼周囲の手術を必要とする疾患については、当院の形成外科へ院内紹介させていただきます。

視能訓練士を中心にロービジョンケアにも注力しております。

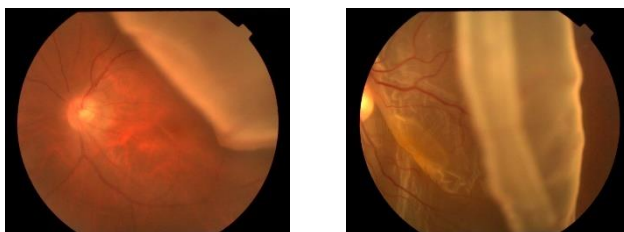
糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症などの網膜疾患や眼炎症疾患に対しては、必要があれば蛍光眼底造影検査を行い、ステロイド薬の局所注射や抗VEGF薬の硝子体注射、網膜光凝固術など適切な治療を行います。

網膜光凝固術は、パターンスキャンレーザーの導入によって従来よりも痛みが少なく低侵襲・短時間で出来るようになり、患者さまの負担が軽減されました。



(7) 糖尿病網膜症の蛍光眼底造影検査

硝子体手術は、広角観察システムを用いたコンステレーション®ビジョンシステムを使用し、網膜剥離(8)、糖尿病網膜症、黄斑疾患等に対応しています。



(8) 裂孔原性網膜剥離

入院による手術治療を行います

当院の眼科では、年間に900件程度の手術を行っております。

【昨年度実績】

- ・ 水晶体再建術 852件
(うち多焦点眼内レンズ15件、眼内レンズ強膜内固定6件)
- ・ 硝子体手術 75件
- ・ その他外眼部手術等 18件

白内障手術は、基本的に1泊または2泊の入院手術をいたします。病棟の空きと予約の状況によっては日帰り手術となる場合があります。

その他の手術についても、ほとんどの場合、入院手術となります。詳しくは主治医と相談していただきます。

病診連携を進めてまいります

水曜日は、終日手術で外来診療を行っておらず、紹介初診を承ることができません。

また、病状の安定した患者さまについては、かかりつけ医での診療をすすめております。

目に関する症状でお困りの患者さまがおられましたら、地域医療連携室を通して、ご紹介くださるようお願いいたします。



当院は地域医療の拠点病院として、今後も地域医療に貢献していく所存です。何卒宜しくお願いいたします。